

# 小学校現場における翻訳教材の指導の実際

阿部 慎一郎

## 1 はじめに

現場での学習指導の拠り所である学習指導要領には、翻訳教材というそのものの記述はないが、教材取り上げ方の配慮事項に関するものとして、「指導計画の作成と内容の取扱い」3(2)のこに「世界の風土や文化などを理解し、国際協調の精神を養うのに役立つこと」という記述がある。小学校の現場ではこの部分を拠り所とし、翻訳教材を取り上げていると考えられる。今回の報告では、①現場での翻訳教材の扱われ方の実際について ②翻訳教材が世界の民話を元になっているものが多いことから日本と外国の民話について、という観点から、翻訳教材の指導について考えてみることにした。

## 2 翻訳教材の実態

### (1) 教科書で扱われている翻訳教材

小学校で使用されている五つの国語の教科書会社の教科書の中で、どのような「翻訳教材」が、どの学年で扱われているかを調べ表にまとめた。項目は、「教科書会社・学年・教材名・作者名・翻訳者名・作者の国籍(舞台となっている国)」である。

● 「国語」 光村図書

学年	教材名	作者名	翻訳者名	作者の国籍 (舞台となっている国)
1年(上)	おおきななかぶ <sup>2</sup>	アレクセイ <sup>1</sup> ト ルストイ	西郷竹彦	ロシア
1年(下)	ずうっと、ずつと、大すきだよ	ハンス <sup>1</sup> ウィル ヘルム	久山太市	ドイツ
2年(上)	スイミー	レオ <sup>1</sup> レオニ	谷川俊太郎	オランダ
2年(下)	お手紙	アーノルド <sup>1</sup> ローベル	三木卓	アメリカ
3年(上)	スーホの白い馬	大塚勇三 <sup>3</sup>	大塚勇三	モンゴル
3年(下)	とらとおじいさん	李錦玉		韓国 <sup>4</sup>
4年(上)	かけ	アルビン <sup>1</sup> トレ セルト	光吉夏弥	アメリカ
4年(下)	掲載なし	ニコライ <sup>1</sup> スラ トコフ	松谷さやか	ロシア
5年	のどがかわいた	ウーリー <sup>1</sup> オル レブ	母袋夏生	イスラエル
6年	(かなえられた願 い) <sup>5</sup>	(ドナルド <sup>1</sup> キー ン)		

●『ひろがる言葉 小学国語』教育出版

学年	教材名	作者名	翻訳者名	作者の国籍 (細字で記す)
1年(上)	おおきななかぶ	アレクセイ・トルストイ	内田莉紗子	ロシア
1年(下)	お手紙	アーノルド・ローベール	三木卓	アメリカ
2年(上)	掲載なし			
2年(下)	せかいじゅうの海が アレクサンダと ぜんまいねずみ わすれられない おくり物	マザー・グース <sup>6</sup> レオ・レオニ スーザン・パー レイ	水谷まさる 谷川俊太郎 小川仁央	イギリス アメリカ オランダ イギリス
3年(上)	掲載なし			
3年(下)	掲載なし			
4年(上)	ヘビ・ミドリカ ナヘビ	ジュール・ル ナル	佃裕文	フランス
4年(下)	掲載なし			
5年(上)	(春暁) <sup>7</sup> (静夜思) (春夜) (論語) (大学)	孟浩然 蘇軾 李白 孔子 曾子		中国 中国 中国 中国 中国
5年(下)	掲載なし			
6年(上)	掲載なし			
6年(下)	(言葉と仕事) 翻訳家 <sup>8</sup>			

●『新編 あたらしいこくご』東京書籍

学年	教材名	作者名	翻訳者名	作者の国籍 (細字で記す)
1年(上)	おおきななかぶ	アレクセイ・トルストイ		ロシア
1年(下)	スイミー	レオ・レオニ	谷川俊太郎	オランダ
2年(上)	お手紙	アーノルド・ローベール	三木卓	アメリカ
2年(下)	掲載なし			
3年(上)	掲載なし			
3年(下)	はりねずみと金貨	ウラジミール・オルロフ	田中潔	ロシア
4年(上)	掲載なし			
4年(下)	(世界一美しいぼくの村) <sup>9</sup> (世界一美しい村に帰る) <sup>10</sup>	小林豊 小林豊		
5年	世界でいちばん やかましい音	ベンジャミン・エルキン	松岡享子	アメリカ
6年	春暁 論語	孔子 孟浩然		中国 中国

●『小学生の国語』三省堂

学年	教材名	作者名	翻訳者名	作者の国籍 (舞台をこえている国)
1年(上)	おおきななかぶ	アレクセイ <sup>11</sup> ト		ロシア
1年(下)	あいして いる から	マージョリー <sup>11</sup> ニユマン	久山太市	イギリス
2年	お手紙	アーノルド <sup>11</sup> ローベル	三木卓	アメリカ
2年	フレデリック	レオ <sup>11</sup> レオニ	谷川俊太郎	オランダ
3年	うさぎのさいば ん	キム <sup>11</sup> セシル	神谷丹路	韓国
3年	わすれられない おくり物	スーザン <sup>11</sup> パー レイ	小川仁央	イギリス
4年	あたまにつまっ た石ころが	キャロル <sup>11</sup> オー テイス <sup>11</sup> ハース ト	千葉茂樹	アメリカ
4年	山のあなた(詩)	カール <sup>11</sup> ブッセ	上田敏	ドイツ
5年	耳(詩)	ジャン <sup>11</sup> ココ ト	堀口大学	フランス
5年	シャボン玉(詩)	ジャン <sup>11</sup> ココ ト	堀口大学	フランス
5年	世界じゅうの海 が	マザー・グース <sup>12</sup>	北原白秋	イギリス アメリカ
6年	まほう使いの チョコレート・ ケーキ	マーガレット <sup>11</sup> ワイルド マーヒー	今村葦子 石井桃子	南アフリカ ニュージー ランド

●『みんなと学ぶ 小学校 国語』学校図書

学年	教材名	作者名	翻訳者名	作者の国籍 (舞台をこえている国)
1年(上)	おおきななかぶ	アレクセイ <sup>11</sup> ト ルストイ		ロシア
1年(下)	掲載なし			
2年(上)	スイミー	レオ <sup>11</sup> レオニ マギー <sup>11</sup> ダフ	谷川俊太郎 山口文夫	オランダ インド
2年(下)	お手紙	アーノルド <sup>11</sup> ローベル	三木卓	アメリカ
3年(上)	掲載なし			
3年(下)	(わたしたち手で 話します) <sup>14</sup>	(フランク <sup>11</sup> ツヨ ク) ゼフ・ファイニ ク	(佐々木田 鶴子)	(オースト リア)
4年(上)	掲載なし			
4年(下)	世界でいちばん やかましい音	ベンジャミン <sup>11</sup> エルキン	松岡享子	アメリカ
5年(上)	し(詩)	マーガレット <sup>11</sup> ワイズ <sup>11</sup> ブラウ ン	木坂涼	アメリカ
5年(下)	掲載なし			
6年(上)	胡隠君を尋ぬ (漢詩)	高啓		中国
6年(下)	掲載なし			

(考察)

・「おおきななかぶ」と「お手紙」は全社の教科書に掲載。「スイミー」は三社に掲載。作家レオ<sup>11</sup>レオニの作品は、全社に掲載

載されている。

・訳者による訳の違いがある。「おおきなかぶ」では、かぶを引つ張る順序が特に大きな違いである。

・教科書会社によつては、挿絵をその物語の舞台となつてゐる国の出身者に描いてもらつてゐる。

・教科書会社によつては、登場人物の名前を、発達段階を考慮して発音しやすい名前に変更して表記している。

・全社ともできるだけ各学年につき一教材は外国の作品が入るような配慮がされている。ない学年は、日本人の書いたもの

●【国語】光村図書

学年	教材名	単元名	言語活動	指導目標
1年	おおきなかぶ ずうっと、ずうっと、 大すきだよ	記載なし 本をえらんで よもう	物語を想像を広げながら楽しんで音読する 本を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む 読んだ本について、好きなところを紹介する文章を書く	◎繰り返しの言葉や文章のリズムを生かして、音読をすることができる。 ○場面の様子や増えていく登場人物について想像を広げながら読むことができる。 ・文中における主語と述語の関係に注意することができる。 ◎読みたい本を選び、登場人物の行動を中心に想像を広げ、好きなところを見つながら読むことができる。 ・文と文の読み方に注意しながら、紹介したい本のカードを書いたり、書いたものを読んで感想を伝え合つたりすることができる。 ◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。 ○人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、感想を書くことができる。 ・様子を表す言葉を使って文を書くことができる。
2年	スイミー お手紙	お話を読んで、かんそうを誓こう 音読げきをしよう	物語を読んで、感想を書く 音読劇をする	◎場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して、音読劇をすることができる。 ○手紙を書く楽しさを知り、物語の登場人物に言つてあげたいことを手紙に書くことができる。 ・物語を読み、自分の経験と結び付けて、感想を発表し合うことができる。

で舞台が外国の作品や随想、説明的文章が入つてゐる。漢文には現代語訳を載せてゐる。

・外国の文学作品は、低学年で扱われることが多い。

(2) 学習指導書から

学習指導書では「単元名」「言語活動」「指導目標」をどのように例示しているかを次の表にまとめた。まとめ方は、光村図書『小学校国語 学習指導書』の「一上 かがやき」から「六創造」について、前記した三つの項目について抜き出している。

2年	スーホの白い馬	お話を、そう ぞうしながら 読もう	場面の様子を想像しながら物語 を読む	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む ことができる。 ◎物語から心に残った言葉や文を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感 想をまとめ、交流することができる。 ・複合語の語感や意味の違いに気づくことができる。
3年	三年とうげ とらとおじいさん	おもしろいと 思うところ を、しようか いしよう	民話や昔話を紹介する	◎物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違 いのあることに気づくことができる。 ◎場面の移り変わりを捉え、登場人物の気持ちの変化や情景を想像する ことができる。 ・工夫された表現に着目し、語句を増やすことができる。
4年	かげ	「読むこと」に ついて考えよ う	読書紹介カードを作る	◎いろいろな本や文章を、目的に応じた読み方で読むことができる。 ◎目的や必要に応じて本文を引用したり要約したり、心に残ったことを 表したりすることができる。
5年	のどがかわいた	記載なし		◎教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深め たりすることができる。 ◎自分の思いや考えが伝わるように朗読をすることができる。 ◎作品や文章の中で言葉の使われ方や表現の工夫に気づくことができる。
6年	かなえられた願い	中学校へつな げよう	課題を決め、成果を発表する	

### (考察)

- ・学習後に様々な本を手にするような単元計画があり、読書へのいざないがなされている指導過程が組まれている。
- ・話の面白さを伝えたり、読んだ感想を伝え合ったりという指導過程が組まれている。
- ・話の展開が明確であるという点を生かし、物語の構成を学ぶ指導事項が取り入れられている。
- ・「日本語表現の常識的な在り方」「作品のテーマ」「表現の効果」「子どもの立場」を配慮して、直訳でない訳を教材文として掲載していることがある。

### (3) 翻訳教材指導のポイント

- ・低学年で国内外問わずいろいろな文章に触れさせることで、読書の世界を広げるようにする。
- ・名作と言われる世界の文学から、読書の面白さを味わわせ、進んで読書をする子どもを育てる。
- ・前述したように学習指導要領の「指導計画の作成と内容の取扱い」3(2)の①に、「世界の風土や文化などを理解する」という記述はあるが、国語科としての教科内容を指導することを忘れず、作品の特徴を生かしながら、文学的な文章の解釈に関する指導を行う。

・文化の違いや発達段階への対応は、教科書会社がかなり配慮している。教師は、翻訳教材であっても文学的な文章の解釈に関する指導に焦点化することが十分できる。

### 3 「民話」という観点から

#### (1) 翻訳教材と民話の関係

学習指導要領や学習指導書を見ても、翻訳教材という言葉は出てこない。「おおきなかぶ」(ロシアの民話)、「スーホの白い馬」(モンゴルの民話、大塚勇三による再話)、「三年とうげ」(韓国の民話)、というように、教科書で扱う翻訳教材には民話が多いことに気がつく。外国の作品を扱う場合、民話という枠組みで語られていることが多い。民話とは日本と外国のものが両方含まれるという前提ではあるが、民話という観点で翻訳教材について考えてみた。

#### (2) 民話の定義と扱い方の留意点

民話という語の使われ方について中村孝一は『国語教育指導用語辞典(第四版)』で以下のように述べている。

民話とは民衆の生活の中から生まれ、民衆によつて語り継がれてきた説話のことで、Folk tale の訳語である民間説話の略称ともいわれる。民話は昔話と同義に使われることもあれば、昔話、伝説、世間話等の総称として用いられることもあり、またそれらを再話や再創造した作品を含めて言う場合もある。さらに民話、昔話、伝説と並列的に用いる

例もあるなど、民話という語の使われ方は多様である。<sup>18)</sup>

授業で民話を扱う際に、どのような点に留意する必要があるのだろうか。民話教材の特性について、中村は以下のように述べている。

民話・伝説は昔の人々の喜びや悲しみといった素朴な感情や願望がエネルギーとなり、長い年月の伝承の中で豊かな想像力や創造力が織り込まれ育ってきたものである。そこには人間の生き方や生きるための知恵、人間の真の姿が表現されている。小学校国語の教科書には再話された「かさこじぞう」「やまんばのにしき」「力太郎」「吉四六話」などが民話教材として収載されてきた。これらの教材の特徴を挙げると次のようになる。

- ① 明確な人物設定や場面設定
- ② 単純明快なストーリー
- ③ 民話特有の語り口や言い回し
- ④ 効果的な擬声語・擬態語
- ⑤ くり返しや対比の構造

授業で扱う際には、これらの特徴に留意する必要がある。<sup>19)</sup>

これらの特徴から、「人物設定・場面設定」などの物語の構造を読む指導、「起承転結」基本四部構成などの物語の構成を読む指導、「語り口、言い回し」「擬声語・擬態語」「くり返し・対比」などの表現の効果を読む指導に生かすことができる

と考えられる。

また、学習指導要領では、民話をどのように扱うとされているのか。調べてみると、学習指導要領に「民話」という記述はない。しかし、前述した民話という語が多様な意味で使われていることを踏まえると、現行学習指導要領では、小学校一、二年生の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「ア 伝統的な言語文化に関する事項」に「昔話や神話・伝承」などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること」と示されていた。中学年以降になると、学習指導要領解説に「昔話や神話・伝承などの本や文章」という記述はなくなる。低学年のように、読み聞かせを聞くことで伝統的な言語文化に触れることの楽しさを実感できるようにすることを狙っているのではない。そうだとすると、中学年以降では、外国の「民話」も、文学的な文章を読むことを指導するための教材として扱われているのではないかと考えることができる。

光村図書の学習指導書には「単元設定の趣旨」について、いくつかの項目を挙げて説明がされている。「指導事項に関わって」という項目に、次のような記述があった。

「おおきなかぶ」は、繰り返しのあるリズムカルなお話である。繰り返しの部分は単純な同じ繰り返しではなく、表現が微妙に変化する。そのおもしろさを、声に出して楽しませたい。

これは、「くり返し」という民話の特性を説明している部分

だと言えるのではないか。「おおきなかぶ」では、「うんとこしょ、どっこいしょ」という掛け声が同じように繰り返されている。しかし、その後に続く一文に注目してみると、「かぶはぬけません。」という表現が、「けれども、かぶはぬけません。」から「それでも、かぶはぬけません。」に。そして「やっぱり、かぶはぬけません。」となり、「まだまだ、かぶはぬけません。」、「なかなか、かぶはぬけません。」、最後は「とうとう、かぶはぬけました。」と微妙に変化している。この違いに気付かせ、言葉に立ち止まらせることによって、子どもは想像を広げながら読むことができるということを示しているであろう。言葉に立ち止まり、想像を広げながら読むということ、光村図書の学習指導書では、以下のように説明されている。

児童は、「けれども」「それでも」「やっぱり」「まだまだ」「なかなか」という表現が出てくると、この後に、「かぶはぬけません。」という否定の意味の結末が来ることが予想できます。そして、まだ「かぶ」が抜けないことを、次の部分を読んで確認します。それを繰り返し、登場人物と共にかぶが抜けなかったことに関わりながらも、自分の予想が当たったことを楽しみながら読み進めていくことでしよう。そして、最後の場面で「とうとう」という表現を読み、児童は「抜けるんだ」と予想して読み進み、「かぶはぬけました。」という喜びに達するのです。

民話の特性には、「明確な人物設定や場面設定」「単純明快な

ストーリー」「表現の工夫」というものもあるということを読むが、学習指導書の記述は、まさに「くり返し」という表現の工夫」を示している。声に出して読ませることで、気付かせ楽しませるといふ手立てをとっているのは、民話が民衆によって口承という形式で語り継がれてきた話であるという民話の特性を踏まえたものといえるだろう。これらの指導事項を指導するために、動作化や役割読みをするのであって、動作化という活動が目的化してしまうような指導過程では、民話を教材にする意味すらも薄れてしまう。それどころか、文学的な文章の解釈に関する指導すら危ういとも言える。指導内容と言語活動とがきちんと関連している指導過程を考える必要がある。そして、それは「学習指導書にそう書いてあるから」ではなく、学習指導要領を熟読して、該当学年でどんな指導内容があり、その力を子どもたちは身につけているのか見極め、教材の特性を踏まえて計画的に指導していくことが大切なのである。

### (3) 民話の指導のポイント

- ・学習指導要領には、翻訳教材という記述がなく、外国の民話として文学的な文章として指導する。
- ・民話の特徴を生かすと、「人物設定」「場面設定」「物語を短文で表す」などを指導する際に適している。
- ・「擬声語・擬態語」「くり返し」という表現の特徴について指導する際に適している。

## 4 翻訳教材の指導のまとめ

- ・低学年で国内外問わずいろいろな文章に触れさせることで、読書の世界を広げるようにする。
- ・名作と言われる世界の文学から、読書の面白さを味わわせ、進んで読書をする子どもを育てる。
- ・「世界の風土や文化などを理解する」とはあるが、国語科としての教科内容を指導することを忘れず、作品の特徴を生かしながら、文学的な文章の解釈に関する指導を行う。
- ・文化の違いや発達段階への対応は、教科書会社がかなり配慮している。教師は、翻訳教材であっても文学的な文章の解釈に関する指導に焦点化することが十分できる。
- ・学習指導要領には、翻訳教材という記述がなく、外国の民話として文学的な文章として指導する。
- ・民話の特徴を生かすと、「人物設定」「場面設定」「物語の短文化」などを指導する際に適している。
- ・「擬声語・擬態語」「くり返し」という表現の特徴について指導する際に適している。

## 5 まとめ

- ・教科書で扱っている翻訳教材には民話が多い。
- ・民話は「物語の典型」を学ぶ教材である。
- ・民話は「人間の生き方や生きるための知恵」「人間の真の姿」を、時代を超えて子どもに語り継いでいる。
- ・読む価値のある文章は世界中にある。世界の人が考えることは、日本と共通していることが多い。

・ 翻訳教材を使って文化を伝えるのではなく、国語の力を身に付けさせるようにする。

・ 中学校学習指導要領には、小学校のように文章の解釈に関する指導事項が詳細に記載されていない。小学校段階で確実に身に付けさせたい。翻訳教材を使った学習もその一つ。

## 6 最後に

学校現場に身を置いていると、その多忙感のあまり、指導書をそのまま書きしてしまうような指導に陥ってしまうことが多い。ふと足を止めて、一つのことについてじっくり考えるところを少なくしてしまう。今回は、このような機会を頂戴し、「翻訳教材」について足を止めて考えてみるよい機会となった。学校現場では、国語の指導において、単元を通して言語活動を設定することに重点が置かれ、言語活動中心の指導が行われている教室をよく目にする。言語活動を通して指導事項を指導することが大切ではあるが、言語活動の設定と同じように、また、それ以上に教材分析・教材研究の重要性に再び目を向ける必要があると考えている。そのような中で、教材分析・教材研究の視点の中に、教材には「翻訳教材」という分野があり、それにはどんな特徴があるのかということについて考えたことが加わったことは、自分にとって大きな収穫である。このような貴重な機会を与えていただいて、大変感謝している。

## 注

1. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版、

二〇〇八年、一二五頁

2. 教材文の最後には、「ロシアのみんわ」と記載されている。

3. 教科書では「おおつかゆうぞう作」として、あるが、モンゴルの民話ともなっており、原典となる福音館書店「スーホの白い馬」では「大塚勇三再話」となっている。大塚勇三は、中国生まれである。

4. 作者の李錦玉は、日本生まれ。在日作家。韓国の民話を元にして、ある。

5. 「かなえられた願い」は、ドナルド・キーンの随想である。

6. マザー・グースは、英米を中心に親しまれている英語の伝承童謡の総称。漢文は、日本語による現代語訳も掲載されているので、( )で記載している。

8. 「ひろがる言葉 小学国語 6年下」教育出版、一三六頁には、「言葉と仕事 翻訳家」という付録があり、日本人と翻訳作品/翻訳作品のすすめ という読み物が掲載されている。

9. 「世界一美しいぼくの村」の作者は日本人。翻訳教材ではないが、アフガニスタンを題材にしている。

10. 「世界一美しい村に帰る」の作者は日本人。翻訳教材ではないが、アフガニスタンを題材にしている。

11. 「おおきななぐ」三省堂には、「アレクセイ・トルストイ再話」と表記がある。

12. マザー・グースは英米を中心に親しまれている英語の伝承童謡の総称。

13. 「ラン パン パン」は、インド民話として紹介されている。

14. 「わたしたち手で話します」は、説明的文章。

15. 光村図書教科書は、物語の元となっている國の出身者の作家に挿絵を依頼している。

16. 光村図書の教科書掲載の「ずうっと、ずっと、大ききだよ」は、原作では主人公は「エルフィー」という表記だが、一年生で学習するということを考慮し、許可を取り「エルフ」という表記にあえて変更している。再話：伝承されてきた昔話や伝説などを、言い伝えられたままではなく、現代的な表現で書き改められたものをいう。(田近海一、井上尚美編著『国語教育指導用語辞典(第四版)』教育出版、二〇一二年、一八〇頁)

18. 田近海一、井上尚美編著『国語教育指導用語辞典(第四版)』教育出版、二〇一二年、一八〇頁

19. 田近海一、井上尚美編著『国語教育指導用語辞典(第四版)』教育出版、

二〇二二年、一八〇頁

20. 『小学校国語 学習指導書』 光村図書、二〇一五年、二二三頁  
21. 『小学校国語 学習指導書』 光村図書、二〇一五年、二三四頁

(主な参考文献・引用文献)

水戸部修治『単元を貫く言語活動のすべてが分かる！小学校国語科授業&評価パーフェクトガイド』明治図書、二〇一三年

田近洵一、井上尚美編著『国語教育指導用語辞典(第四版)』教育出版、二〇二二年

文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版、二〇〇八年

『小学校国語 学習指導書 一上、かぎぐるま』光村図書、二〇一五年

『国語』(一〜六) 光村図書、二〇一五年

『ひろがる言葉 小学国語』(1〜6) 教育出版、二〇一五年

『新編、新しい国語』(一〜六) 東京書籍、二〇一五年

『小学生の国語』(一年〜六年) 三省堂、二〇一五年

『みんなと学ぶ 小学校 国語』(一年〜六年) 学校図書、二〇一五年

(あべ しんいちろう 埼玉県春日部市立川辺小学校教諭)